

- 問1 ヨーロッパの商船が日本に渡来して大量の銀を持ち帰るようになった16世紀より前、13世紀末にアジアでの旅行体験を『世界の記述』として書き残し、ヨーロッパ人のアジアへの関心を深めさせた人物として適切なものを選択肢から1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. マゼラン 2. マルコ=ポーロ 3. ヴァスコ・ダ・ガマ 4. コロンブス
- 問2 室町時代、京都などの都市部で酒造業を営む傍ら、質入れを受けて高利貸しを行い、莫大な利益を上げていた業者を何と呼びますか。幕府の重要な財源として保護を受けていた業者を組み合わせさせて答えなさい。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 酒屋・土倉 2. 問屋・座 3. 守護・地頭 4. 惣村・寄合
- 問3 室町時代、近畿地方を中心に農民たちが自衛や用水の管理などを目的として結成した、自治的な村組織を何と呼びますか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 座 2. 株仲間 3. 惣村 4. 問丸
- 問4 北海道にある「札幌（サッポロ）」や「小樽（オタル）」などの地名は、ある人々の言葉に由来しています。この地名の由来となった人々と、その歴史的背景について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. アイヌ民族の言葉であるアイヌ語がもとになっており、古くからその土地で生活していた歴史を反映している。 2. 江戸時代に松前藩が、交易を有利に進めるために独自の文字を考案して命名したものである。 3. 明治時代に開拓に従事した屯田兵が、出身地の地名をそのまま付けたことに由来している。 4. 古代の朝廷から派遣された人々が、現地の地形を漢字の意味に合わせて名付けたものである。
- 問5 ある地域の歴史年表において、400年頃の古代から1863年の近代までの流れが示されています。このうち、1398年が含まれる院政期から室町時代の終わり頃までの時代区分を指す名称として適切なものはどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 古代 2. 中世 3. 近代 4. 近世
- 問6 能に関する歴史的背景や特徴について述べた記述として、最も適切なものを説明文の中から選びなさい。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 江戸時代の初めに、出雲の阿国が始めた踊りがもととなり、都市の庶民の間で流行した。 2. 平安時代に貴族の間で親しまれた和歌や蹴鞠が、武士の作法として制度化されたものである。 3. 室町時代の将軍の保護を受け、観阿弥・世阿弥によって芸術として完成された。 4. 近松門左衛門が脚本を書き、三味線の伴奏に合わせて人形を操る芸能として発展した。
- 問7 日明貿易を開始した足利義満は、明の皇帝から「日本国王」という称号を授かり、臣下の礼をとる形で貿易を行いました。この貿易において、明に持参する側の証明札（勘合）に記されていた、義満の立場を示す言葉の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 太政大臣 2. 征夷大將軍 3. 日本国王 4. 執権
- 問8 室町時代に栄えた東山文化では、現代の日本文化に繋がる多くの伝統が生まれました。その中で、雪舟が成し遂げた「水墨画」における歴史的な功績として最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 中国の模倣であった水墨画を、日本の風景や感性に合わせた独自の芸術へと高めた 2. 金箔をふんだんに使用した豪華な障壁画を制作し、武家社会の権威を象徴させた 3. 庶民の風俗を生き生きと描く浮世絵を創始し、木版画による多色刷りの技術を広めた 4. 西洋の遠近法をいち早く取り入れ、日本の伝統的な風景を写実的に描く技法を確立した
- 問9 14世紀末の朝鮮半島では、高麗を倒した人物によって新たに朝鮮（朝鮮国）が建国されました。この建国を成し遂げ、初代の王となった人物は誰か、正しい名称を選びなさい。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 李成桂 2. 王建 3. 大祚宗 4. 金春秋
- 問10 歴史的な書物が編纂された目的や時代背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. 江戸時代に、室町文化を代表する能の理論を広く一般に普及させるため『風姿花伝』が刊行された。 2. 平安時代の国風文化の中で、武士の合戦の様子を詳しく描いた『蒙古襲来絵詞』が広く読まれた。 3. 鎌倉時代に、貴族の華やかな宮廷生活を懐かしむために『枕草子』が執筆された。 4. 奈良時代には、大陸の歴史書にならい、天皇を中心とした国家の歴史を記す『日本書紀』が作られた。
- 問11 14世紀後半から15世紀にかけて、首里を中心とした琉球諸島は、日本、中国、朝鮮、東南アジアの各方面を結ぶ拠点として繁栄しました。このように、他国から仕入れた産物を周辺諸国に転売することで利益を得る貿易形態を何といいますか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 中継貿易 2. 勘合貿易 3. 朱印船貿易 4. 朝貢貿易
- 問12 室町時代の社会と文化について述べた説明として、農民の自治組織の名称と、当時完成された芸能の組み合わせが正しいものはどれですか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 自治組織は「五人組」と呼ばれ、芸能では「人形浄瑠璃」が始まった。 2. 自治組織は「惣」と呼ばれ、芸能では「能」が大成された。 3. 自治組織は「株仲間」と呼ばれ、芸能では「狂言」が武士の間で広まった。 4. 自治組織は「座」と呼ばれ、芸能では「歌舞伎」が流行した。
- 問13 15世紀ごろ、琉球王国が東アジアや東南アジアを結ぶ交易で大きな利益を上げることができた背景には、当時の明（中国）が行っていた政策が深く関わっています。その政策の内容と琉球の関係について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 明が民間人の自由な海外渡航や貿易を制限する海禁政策をとるなかで、琉球は正式な朝貢国として貿易を認められ、各地の産物を明に運ぶ役割を担った。 2. 明が日本との間で勘合（合札）を用いた貿易を独占的に行ったため、その中継地点として琉球の港が明によって直接管理・運営された。 3. 明が東南アジア諸国との貿易を全面的に禁止したため、琉球は明の許可を得ることなく、密貿易の拠点として東南アジアの香辛料を日本へ運んだ。 4. 明がキリスト教の布教を伴う貿易を奨励したため、キリスト教を受け入れた琉球王国は、ヨーロッパ諸国とアジアを結ぶ唯一の窓口となった。
- 問14 室町時代の京都において、応仁の乱などの戦乱によって荒廃した都市を復興させ、自衛や自治のために組織を結成した有力な商工業者を何と呼びますか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 町衆 2. 五人組 3. 株仲間 4. 惣

答え合わせ・解説

問1	答え 2 マルコ＝ポーロ	13世紀末にアジアを旅し、その体験を『世界の記述』（東方見聞録）としてまとめた人物はマルコ＝ポーロです。彼の著書はヨーロッパ人のアジアに対する関心を高め、後の大航海時代へ大きな影響を与えました。
問2	答え 1 酒屋・土倉	室町時代、貨幣経済の浸透に伴い、醸造業を営む「酒屋」や質屋である「土倉」が、蓄えた資本を元手に高利貸しとして成長しました。室町幕府は彼らに「酒屋役」や「倉役」などの税を課す代わりに、その営業を保護し、幕府の財政基盤として利用しました。
問3	答え 3 惣村	室町時代になると、農民が団結して自立的に運営を行う「惣村」が形成されました。惣村では、村の神社などで「寄合」と呼ばれる会議を開き、入会地の管理や用水の配分、年貢の納入交渉などを共同で行いました。こうした自治の広がりには、当時の農民が社会的地位を高めていたことを示しています。
問4	答え 1 アイヌ民族の言葉であるアイヌ語がもとになっており、古くからその土地で生活していた歴史を反映している。	北海道の地名の多くは、先住民族であるアイヌ民族の言葉（アイヌ語）に由来しています。例えば「サッ・ポロ・ベツ（乾いた大きな川）」が札幌に、「オタ・オル・ナイ（砂浜の中の川）」が小樽になったとされています。これは、アイヌ民族が北海道の全域で、地形や自然の特徴を捉えながら長く生活を営んできた証拠といえます。解答の選択肢を検討する際、単に「アイヌ」だけでなく「民族」まで含めた名称で理解することが重要です。
問5	答え 2 中世	日本の歴史区分では、律令国家が成立した古代の後に続き、武士が政治の表舞台に現れる院政期から、室町幕府が滅亡するまでの時期を「中世」と呼びます。1398年は室町幕府の第3代将軍である足利義満が、京都の北山に金閣を建立するなど権力を振るっていた時期に当たります。
問6	答え 3 室町時代の将軍の保護を受け、観阿弥・世阿弥によって芸術として完成された。	能は、足利義満という強力なパトロン（保護者）を得たことで、単なる見世物から高い芸術性を持つ舞台へと発展しました。選択肢にある「出雲の阿国」は歌舞伎、「近松門左衛門」は人形浄瑠璃の解説であり、いずれも江戸時代の町人文化の特徴を示しています。能はこれらより前の室町時代に、幕府という武力組織の頂点にある人々の支援を受けて確立されました。
問7	答え 3 日本国王	日明貿易は、中国の皇帝が周辺諸国の王に地位を与え、その返礼として朝貢（貢ぎ物）を受け取る「朝貢貿易」の形式をとっていました。足利義満は明の皇帝から「日本国王」として冊封（称号を授かること）されたため、勘合には日本の正統な統治者であることを示す「日本国王」という文字が記されていました。これにより、幕府は莫大な貿易利益を得るとともに、その国際的な地位を高めました。
問8	答え 1 中国の模倣であった水墨画を、日本の風景や感性に合わせた独自の芸術へと高めた	雪舟が登場するまでの日本の水墨画は、中国の宋や元の画風を模倣する段階にありました。雪舟は実際に明へ渡って本場の技術を吸収した上で、日本の山河にふさわしい構図や、太く力強い輪郭線を用いる独自の画風を確立しました。これが、日本における水墨画の自立と完成と言われています。
問9	答え 1 李成桂	1392年に武将であった李成桂が高麗を倒し、漢陽（現在のソウル）を都として朝鮮を建国しました。この国は儒教を政治の理念に掲げ、中央集権的な国家体制を整えました。選択肢にある王建は高麗の建国者、大祚榮は渤海の建国者、金春秋は新羅の統一に関わった人物です。
問10	答え 4 奈良時代には、大陸の歴史書にならい、天皇を中心とした国家の歴史を記す『日本書紀』が作られた。	古代の律令国家は、国内外に対して国家の成り立ちを示す必要があり、奈良時代に『日本書紀』を編纂しました。『枕草子』は平安時代の国風文化を代表する随筆であり、『蒙古襲来絵詞』は鎌倉時代の元寇に関連する史料です。また、『風姿花伝』は室町時代に世阿弥によって記された能の理論書であり、江戸時代に一般普及を目的として作られたものではありません。
問11	答え 1 中継貿易	14世紀から16世紀にかけての琉球王国は、その地理的利点を活かし、中国、日本、朝鮮、そして東南アジアを結ぶ窓口として機能しました。この貿易は「なかつぎぼうえき」とも呼ばれ、特定の国との二国間取引にとどまらず、アジア各地の産物を集積し、需要のある他国へ転売することで莫大な富を築きました。選択肢にある朝貢貿易は中国の皇帝に貢物を捧げる形式、朱印船貿易は江戸時代初期に幕府の許可を得て行われた貿易、勘合貿易は室町時代に足利義満が始めた日明貿易を指します。
問12	答え 2 自治組織は「惣」と呼ばれ、芸能では「能」が大成された。	室町時代、農民たちは「惣」を結成して村を運営し、領主に対して団結して交渉を行うようになりました。文化面では、観阿弥・世阿弥の親子によって「能」が大成され、幕府の保護を受けながら発展しました。「座」は商工業者の組合であり、「歌舞伎」「人形浄瑠璃」は江戸時代に開花した文化です。また「五人組」や「株仲間」も江戸時代の制度や組織です。
問13	答え 1 明が民間人の自由な海外渡航や貿易を制限する海禁政策をとるなかで、琉球は正式な朝貢国として貿易を認められ、各地の産物を明に運ぶ役割を担った。	当時の明は「海禁」という政策により、許可のない私的な海外貿易を厳しく禁じていました。しかし、明の皇帝に対して貢ぎ物を捧げる「朝貢」の形式をとる貿易は認められていたため、琉球はこの仕組みを利用して、明が欲しがると東南アジアの産物や日本の品物を運び入れました。周辺諸国の貿易が制限されていたからこそ、朝貢を許された琉球の仲介機能が極めて重要なものとなりました。
問14	答え 1 町衆	室町時代の京都では、豊かな経済力を持つ商工業者たちが「町衆」と呼ばれる自治組織を形成しました。彼らは応仁の乱で荒れ果てた町の復興を主導し、自分たちの手で町を管理・運営しました。一方、選択肢にある「惣（惣村）」は同時期の農村における自治組織であり、「株仲間」や「五人組」は江戸時代の制度です。